

審議会等の会議の記録

審議会等の名称	平成29年度第4回西脇市介護保険運営協議会
開催日時	平成30年1月25日（木） 午後1時30分～3時
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター
出席委員の氏名 又は人数 （敬称略）	大久保恵司、大隅明文、大西美樹、齋藤周藏、 島田彰子、西田俊哉、飛田雅子、廣田よし子、 南久雄、安好栄子、山本國雄、吉田孝司 計 12人
欠席委員の氏名 又は人数（敬称略）	芹生哲也、廣田昌稔、真鍋宣征 計 3人
出席職員の職・ 氏名又は人数	福祉部長 細川喜美博 長寿福祉課長 村井真紀 健康課長 塩崎さゆり 介護保険担当課長補佐 徳岡雅子 地域包括支援担当主査 笹倉真由美 長寿福祉担当主査 比留田展忠 指導監査担当主査 藤原あかり 計 7人
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0人
議題又は協議事項	1 第7期西脇市高齢者安心プラン（案）について ア パブリックコメントの実施結果について イ 地域密着型サービス及び施設サービス等の 整備計画について ウ 第7期介護保険料について 2 西脇市地域包括支援センター運営方針について 3 条例の制定及び改正について ア 西脇市指定居宅介護支援等の事業の人員及 び運営に関する基準を定める条例の制定につ いて イ 西脇市指定地域密着型サービスの事業の人

	<p>員、設備及び運営に関する基準を定める条例の改正について</p> <p>ウ 西脇市手数料条例の改正について</p>
発信者	会議の記録（概要）
会長	<p>1 会長あいさつ</p> <p>2 協議事項</p> <p>(1) 第7期西脇市高齢者安心プラン（案）について</p> <p>ア パブリックコメントの実施結果について</p>
事務局	資料説明
会長	<p>1つ目の意見は、縦割り行政するのではなく、障害者も合わせて施策に取り組んでほしいとの内容である。障害者については障害者福祉計画があり、高齢者安心プランとリンクさせるのは難しいことである。しかし、高齢者や障害者、認知症の方が住み慣れた地域で一緒に生活が継続できる体制が地域包括ケアシステムである。それぞれの施策を充実していく中で、合体していく必要があると思う。</p> <p>2つ目の訪問型サービスやケアマネジメント等の意見に関しては、この計画においても、ケアマネジメントが適正かどうかを市が管理監督をしていくことになっており、今後機能していくのでないか。</p> <p>また、利用者家族が施設を頼りがちであり、市民啓発が必要との意見があるが、今回開催される市民フォーラム等を通して、認知症の問題や地域医療の問題を地域ぐるみで考える機会をつくり、市民に啓発していくことも大切である。</p> <p>また、施設利用に偏っていくと介護保険料が上がるのは仕方がないことである。施設介護から在宅介護にシフトしていく方向ではあるが、人手不足の解消に加え、元気なお年寄りが地域で活躍できるまちづくりが必要であり、各地域でも考えていかなければならない課題であると思う。</p> <p>イ 地域密着型サービス及び施設サービス等の整備計画について</p>

事務局	資料説明
委員	<p>市では、特定施設入居者生活介護は整備されないとのことで、それは市の方針として理解できるが、国、県の方針を整理して伝えておく。</p> <p>有料老人ホームについては、国、県とも、特定施設入居者生活介護の指定がある場合は、特養の代替になると考えている。また、特養は、低所得者のみを対象にした施設ではなく、要介護3以上の中重度の方を対象にした施設である。現在、有料老人ホームは15,000床の整備がされておりそのうち、特定施設入居者生活介護の指定を受けているのは約83%である。現在のところ、国、県とも、これらの目標値は持つておらず促進する考えもない。</p> <p>次に、サービス付き高齢者向け住宅について、特定施設入居者生活介護の指定を受けた場合には、特養の代替になると考えている。国の調査によると、家賃、食費、共益費込みで平均月額利用料は約14万円となっており、国民年金生活者にとっては少し厳しいと思う。</p> <p>また、国の介護離職ゼロ対策は、介護による離職防止と特養待機者の解消が趣旨である。2020年初頭までに20,000床の特養の前倒し整備と、定期巡回・随時対応サービスが考えられている。全国で120,000床のうち、100,000床が施設・在宅サービスの拡充、残り20,000床はサービス付き高齢者向け住宅の整備を考えている。県内では、現在9,800床が、主に神戸阪神間で整備されており、そのうち、約12%が特定施設入居者生活介護の指定を受けている。</p> <p>第6期計画では、目標値として2025年までに特養の必要推計量を37,000床としており、その当時、特養の整備量が24,000床で、特養の整備計画が8,000床あったため、残りの5,000床を在宅福祉で対応し、そのうち3,500床については定期巡回・随時対応サービスの整備、残り1,500床は、サービス付き高齢者向け住宅で代替しようと考えている。</p> <p>第7期計画では、国の介護離職ゼロ対策等が上乗せされるため、サービス付き高齢者向け住宅の特定施設入居者生活介護の指定について、特養の代替として、都市部が中心になるが、引き続き積極的に促進をしていく方向である。</p>
会長	在宅介護といっても都市部とは違い、大学生も少なく介護ボランティアの人材も少ない。また、国はユニット型を

委員	<p>推進しているが、西脇市のような国民年金受給者が圧倒的に多い地域で、特養のユニット型には経済的に利用できない方が多い現状は理解いただいているのか。都市部だけの話ではなく、各市町村の特性を考慮した施策を県レベルでも考えていただきたい。</p> <p>国では、特養のユニット化の整備を推進しているが、県では、多床室も一定のニーズがあるということで、昨年、整備補助金を設け、ユニット化と合わせて多床室の整備についても推進している。</p>
事務局	<p>ウ 第7期介護保険料について</p> <p>資料説明</p>
会長	<p>介護サービスが充実すれば、介護保険料は高くなるが、この内容で承認ということでもいいか。</p>
委員全員	<p>異議なし</p>
事務局	<p>前回の運営協議会で、国が介護予防の生活指標について示された場合はプラン案を見直すかもしれない、と説明していたが、国から指標の示しが無い状況であるため、このままでよいか。</p>
委員全員	<p>異議なし</p>
事務局	<p>2 西脇市地域包括支援センター運営方針について</p> <p>資料説明</p>
委員	<p>「高齢者虐待の相談窓口の周知徹底を図る」とあるが、具体的にはどのようなことか。家庭内での虐待など非常に関わりが難しい内容の場合、誰がどう関わっていくのか。</p>
事務局	<p>主に、介護関係者と地域の民生委員等には、虐待に関する相談窓口は、地域包括支援センターであると、これまでも周知している。</p>

委員	<p>例えば、子どもの虐待の場合は学校で発見に至るケースがあるが、親の介護での虐待の場合、表に出ない部分があり、自治会としてどこまで関わるのかが非常に難しい。</p>
事務局	<p>虐待については、身体的、介護放棄、経済的な虐待等、様々な種類があるが、介護者が疲れてのケースが多く、その場合は介護者も含めた支援が必要である。既にケアマネジャーが付いている場合は、ケアプランの見直しをする場合が多い。一時的な相談窓口は地域包括支援センターで、その後、措置入所等になれば市が連携のうえ対応していくことになる。</p>
会長	<p>虐待の疑いのケースがあったときは、第一の窓口は地域包括支援センターであり、ここで解決するのではなく、難しいケースは地域ケア会議、個別会議、認知症早期支援チーム等で解決していくということになる。</p>
委員	<p>私がよく対応する相談内容は、権利擁護の問題である。独居で身寄りのない方が亡くなられた場合、手続き等に苦慮することがある。</p>
事務局	<p>社会福祉協議会で金銭管理の事業がある。また、成年後見の申請は手続きが難しいが、必要な方については市長申し立てをしているので、申し出いただきたい。</p>
会長	<p>独居高齢者の場合は、施設入所時や入院時、また、手術時等で、誰が承認するのか等について法律的にも定められていない。国が指針を示してほしいと思う。</p>
委員	<p>地域包括支援センターが北部と南部に設置された件で、当初は市直営でないことに不安があったが、今は気軽に相談しやすく、よく対応してもらっていると感じている。</p>
	<p>3 条例の制定及び改正について</p>
事務局	<p>資料説明</p>
会長	<p>「西脇市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について」、射幸心をそそる</p>

事務局	<p>おそれ等のある遊技の提供等の禁止とは、具体的な内容は示さないのか。</p> <p>地域密着型サービスにおいては、利用時において相当と認められる程度を超えて、日常生活を逸脱して利用者に提供してはならないということである。</p>
委員	<p>総合事業について、昨年4月から開始されてから利用者は増えたのか。</p>
事務局	<p>事業開始時から、認定の更新に合わせて順次移行しているため利用者は増えている。従来行っている相当サービスも総合事業になり、引き続き相当サービスを利用されている方が多い現状になっている。新しく設定した入浴デイサービス等も利用はある。</p>
会長	<p>総合事業では、移送サービスがまだできていない。地域で考えてやっておられるところもあり、これからの課題である。</p> <p>それでは、第4回介護保険運営協議会を終了する。</p>